

平成 28 年度 第 1 回学校協議会

平成 28 年度府立野崎高等学校第 1 回学校協議会議事録

日時：平成 28 年 6 月 22 日(水)

15:20~16:50

於：本校図書室

司会：榊 教頭

記録：岡北

山本

松原

宮成

【次第】

- 1、校長挨拶
- 2、出席者紹介
- 3、会長選出
- 4、学校より
- 5、協議・意見交換
- 6、会長より

0. 司会榊教頭より

- ・資料確認

1. 校長挨拶

学校協議会委員を引き受けていただいたお礼

本校の様子について

- ・期末テスト前の時期である
- ・首席や分掌長について
- ・40周年を終えたお礼と、50周年に向けて
- ・学校経営推進費獲得報告

2. 出席者紹介：榊教頭

- ・資料名簿による委員紹介
- ・事務局メンバーの自己紹介

3. 協議会会長選出

- ・ 榊教頭より、推挙者の確認
 - 委員より、事務局から推挙者を出すようにとの要望がある
- ・ 榊教頭の指名で、鳶岡委員を会長に推薦
 - 委員全員承認

4. 学校からの報告：村田校長

野崎高校学校経営計画について

めざす学校の姿 「一人ひとりを大切に作る学校」

3つの重点目標

- ①生徒の自己実現を最大限に支援する学校
- ②すべての生徒が安心・安全に生活できる学校
- ③地域としっかり連携して生徒を育てる学校

地域の中学生在が来たいと思える学校作り

- ・ 中学校の調査書の内申点が相対評価から絶対評価へ
- ・ 各高校は求める生徒像を「アドミッションポリシー」として公表する
- ・ 志望者が例年より多かった

本校生徒の様子

- ・ 年度初めは遅刻者が少なかった
- ・ 懲戒件数は昨年度より減少傾向にある

教員研修の充実

- ・ 初任者・中堅・ベテラン、その時々で教員は学び続けなければならない
- ・ 初任者研修は年 25 回から年 21 回に変更されるとともに、残りの 4 回分については必要に応じて 4 年目までに行うことになった
- ・ 5 年目から 9 年目の教員が、10 年目研修の前倒しの研修に積極的に参加している
- ・ 校内で首席が実施しているフレッシュパーソンズ研修
- ・ 大阪府教育庁の協力により、ミドルリーダーを育成する診断支援事業研修の実施
- ・ 数学科を中心にパッケージ研修の実施

学校経営推進費

- ・ 昨年に引き続き、今年度も獲得した
- ・ 昨年は学力向上で ICT 環境の整備、今年は自尊感情の育成で、舞台設備の充実を行う

生徒指導部より

- ・指導案件への迅速で丁寧な対応と規範意識の向上
- ・OSAKA スマホサミットへの参加

生徒活動の充実

- ・生徒リーダー研修の実施
- ・体育大会、文化祭などを生徒主体で行う

クラブ加入率の増加

- ・各部顧問の声かけにより、加入率が増加
- ・登校遅刻者数の減少
- ・駐輪指導の強化、正門に立つ教員の増加により遅刻者が減少
- ・6月の遅刻状況は昨年度より4割減

進路指導

進路指導ではなく進路保障の立場で支援をしていく

一人ひとりの自己実現のために、キャリア教育に重点を置く

行事の内容を変更

- ・5月の企業訪問で卒業生の職場定着支援を主な目的とする
- ・分野別進路説明会で体験型の説明会を行った
- ・実際に体験することで「自分でやってみよう」という意欲を引き出す

自分が望む進路へ向けた指導

- ・昨年度は進路未定者が増加したが、縁故就職予定や進学資金準備など、それぞれに理由のある場合がほとんどであった

今年度の卒業生の状況について

- ・就職が半数を超える
- ・4月から自分で求人を自主的に調べている
- ・キャンパス見学会などにも積極的に参加している

人権推進委員会より

L S（総合的な学習の授業）を中心に計画を立てて、様々なテーマを立て実施

- ・昨年度は人権講演会を実施
- ・差別について知る、体験者から聞く
- ・昨年度と今年度の計画について
- ・昨年度の生徒の感想から実施の効果はあった
- ・高校生の携帯所持率は98%
- ・使用禁止ではなく、正しい使い方を学習する機会を設ける
- ・今年度も不適切な写真の投稿などがあった

- ・在日コリアンの方の講演会を予定
- ・貧困問題について Shingo☆西成氏を講演会の講師として呼ぶ予定

職員研修

- ・昨年度、保護者心理の理解と対応の仕方について
- ・昨年度2回目、犯罪被害者の会の伊藤博裕氏の講演を実施
- ・今年度は5月に個別の支援計画作成を実施
- ・7月にスクールソーシャルワーカーの活用についての講演を予定

様々な支援の必要な生徒への支援体制

- ・就学対策委員会
- ・支援の必要な生徒への学習保障
- ・教育相談委員会
- ・スクールカウンセラーと対応を協議する
- ・ソーシャルワーカーとの連携
- ・家庭の問題なども連携して対応を協議することが可能となった

広報活動について

広報活動の3本柱

①中高大連携

中高連絡会、学校説明会や体験入学会、中学校などで行われる学び合いの公開授業研究会などへの積極的な参加

②情報発信

- ・今年度本校 HP をリニューアル、WEB ページ内での積極的な配信活動
- ・オフィシャルブログのより一層の充実
- ・積極的な中学訪問

③地域連携

- ・学校協議会や里山ボランティア、しじょっこ地域教育協議会などとの連携
- ・中学校とのきめ細やかな情報交換
- ・卒業後の進学・就職先への積極的な訪問による連携と広報活動

今年度広報 PT 活動報告・予定

- ・情報発信
- ・学校説明会など
- ・公開研究授業
- ・地域連携
- ・高大連携など

本校ブログの一部紹介

- ・谷川中学校への授業見学
- ・谷川中学への説明会
- ・企業訪問
- ・野崎レポリビューション
- ・地域の中学校区と連携した人権研修

野崎プロレス

- ・今年度から実施
- ・主催者である本校の卒業生から、学校紹介ブース出展依頼
- ・オープニングセレモニーに本校生徒会長が司会のお手伝い

野崎まつり巡視

- ・いいもりプラザでの顔合わせ
- ・雨天のため巡視ができなかったので、参加者の顔合わせを実施（10名参加）

里山ボランティア

- ・5月の野崎駅前の谷田川クリーンアップ清掃の報告

5. 協議・意見交換

会 長：昨年度の総括や、今年度の取り組み、今後の課題等あれば。

委 員：里山ボランティアを野崎高校生と一緒に活動をしている。今年度、京橋まで続く川を掃除するクリーン活動をやっていて、出来たら屋形船を川に浮かべたいと思っている。山の活動と海の活動がつながっている。大阪産業大学と連携してエコ推進プロジェクトを実施していて、その大学生を含めて里山をみていく流れになった。野崎高校の生徒もこの活動に何とか入ってほしい。大阪産業大学の学生が兜を作っていて、その兜を野崎高校の生徒たちに、また大学生に刀を装着してもらいたい。8月11日の山の日にオープニング式が開講されるのでその時に高校生の里山のOBもしくは生徒の男女にこの兜をかぶってほしい。11月2日にしじょっこ祭りがある。野崎高校の里山ボランティアクラブも竹を使用した昔の遊びを再現している。野崎高校のOBに竹笛の名人がいるが、何とか来てほしい。小学生のふれあいなどができたらいいと思っている。

委 員：大東市で4つの中学を経験している。野崎高校でお世話になった生徒も多く知っている。教育実習などで知った子もいる。野崎高校を出て専門学校を卒業し今店を開いている生徒も知っている。今後も野崎高校の生徒との関係をよくしていきたい。

委員：野崎高校で、あいさつのできる生徒が増えたように感じる。

先日、AO対策の説明会も90分間行ったが寝ている生徒はいなかった、いい生徒が多かった。また、shingo☆西成氏はよいと思う。里山プロジェクトも最近テレビでやっている番組などと掛け合わせるとよいと思う。

委員：太鼓の力、歴史を知っていくことで人の力や知恵などを知ることができる。

皮の力を勉強することや皮の産業や歴史を勉強していくと、少し嫌な思いをしている人がすごい力をもっていると実感できる。授業などで野崎高校の生徒とかかかわると町で会っても声を掛けられることもある。野崎高校の生徒が経験したことはどこかで生かされるのではないのかと思う。

委員：遅刻者の推移を見ると、5月と冬に遅刻者が増える。うちの子どもを見ていると、まさにその通りだと思う。今はマイルドヤンキーという地元に残る子が多い。教育をしっかりしていけば、いずれ大東市を支える存在になる可能性もある。

会長：自尊感情を育てるのはすごく大事なことです。いろんな生徒がいる中で「ほめてもらう」「みとめてあげる」が大事だと思う。気軽に勉強や質問できるスペースというのは、すごく大事だと思う。2年目で結果が出ているのはこのような積み重ねの結果だと思う。

クラブ活動の参加率が高くなるのはいいこと。

最後に感じたのは、今日お聞きしているいろんなことが線になっているということ、人権のことも、すべてがつながってきている。ぜひ今年一年間頑張ってください。

榊教頭：次回は、11月25日（金）を予定しています。

第2回もよろしくお願いいたします。